

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和4年10月14日 ~ 令和5年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>II. 広報・相談体制の充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在する未就学者に対して、本学級の周知及び紹介を図るための広報活動の推進に取り組む。 <p>VI. その他夜間中学における教育活動充実に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導用教材について検討し、より一層の充実を図る。 ・都夜中研大会への参加を通して、各校の様々な取組に関する情報を得て、生徒の特質に応じた系統的かつ継続的な指導体制やカリキュラムの構築を図る。
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験上、未就学者は引き続き潜在的に偏在しているであろうことは想像に難くない。また、このコロナ禍の現状で学びたくても一歩足を踏み出せないでいることも推察される。これまでの生徒募集の成果や関係諸機関で行われたニーズ調査の結果等を基に広報活動を推進し、義務教育未修了者等に対して一層の周知に取り組む。 ・夜間中学の日本語教育に指定の教科書が配布されているわけではないため、テキストを自主的に選択して使用しているが、適正な内容を備えたものが選択されているかどうか定期的に見直し、より生徒の実態に即した教材の選択をしていく必要がある。またGIGAスクール構想推進を念頭に、ICT機器や関連アプリの一層の充実を図り存分に有効に活用していく。 ・夜間中学は、地域や社会の趨勢によって生徒の特質が変遷する。よって、他の地域の夜間中学の取組を学び、生徒の特質の変化に対応できるよう、数多くの情報を得て、墨田区夜間学級に必要な教育活動の在り方や指導体制の構築を目指す。
調査研究の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の活発化を図るために学校案内リーフレット（B4版三つ折りカラー）300部を外注した。これを近隣の3つの集合団地や主要公共施設等に配布し周知を図ったことに因り、電話での入学相談の問合せが例年以上に多く寄せられた。その効果については今後さらに検討を重ね、工夫や改善を図る必要がある。 ・日本語教育を一層充実させるため、指導テキストについて検討し、最も適切と思われるものを購入し、学習教材として大いに活用している。生徒の日本語能力が短期間にメキメキと上達してい

る背景に、これらの教材を取り入れたことが大きな一因になっていると考える。また、公益財団法人国際日本語普及協会より専門の講師を招聘し、日本語教育指導についての研修会を行い、様々な指導と助言をいただいた。これに因り、教員個人の日本語指導力が向上し、日本語教育未経験の教員が授業に支障なく指導を進めることができる基盤が整備されたと考える。

・外国人生徒との円滑なコミュニケーションを図り、日常生活指導や進路指導を徹底することや、家庭との連絡を密に取り、家庭での生活を把握し、適切な助言を与えることができるよう、翻訳機を複数台購入し、指導に役立てている。墨田区夜間学級には、中国語とネパール語の通訳介助が1名ずつ勤務しているが、毎日の常勤ではなく、1回3時間程度と時間が限られている。また、その他の外国語を使用する生徒には迅速に対応することが困難である。

このような事情から、翻訳機の活用により、格段に意思疎通の面での生徒指導にかかる時間を削減し、対話の精度を向上させることができた。

・今年度は2回、東京都夜間中学校研究大会がオンライン開催された他、毎月1回行われる副校長会および研究連絡協議会、管理職会、研究部会や教科班会等を通じて、様々な情報や意見交換を交わす中で、他の地域の夜間中学の取組を学び、数多くの情報を得、墨田区夜間学級の授業展開や教材の工夫の仕方、諸行事の企画立案や運営方法に生かすことができた。